

---

# ヒッキー姉

浮き葉

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ヒッキー姉

### 【Nコード】

N7422D

### 【作者名】

浮き葉

### 【あらすじ】

引きこもりの姉と、それを無性に毛嫌いする弟の怠惰なコメディ

こんにちは弟です。

いきなりですがしりとり大会始めましょう！　じゃあ俺からね！  
えーと……パソコン！

はい。

なんと今日は久々の休日。俺がリビングでくつろいでいると、二階から階段を降りてくる音がしてき

ます。

見ると、実に不審な女がそこにいました。寝起きのパジャマ姿で、死にかけた魚のような目をしたソ

イツが、俺の近くまでやってきました。

「なあ、社会の歯車の一つに過ぎない弟よ」

「何の用だ。余り物の歯車に過ぎない姉よ」

信じがたいことに、その不審な女は俺の姉です。

20歳無職引きこもりです。

格好よく言つとNEETです。

「違うな。格好よく言つと自宅警備員だ」

「心を読むな」

姉の長い髪が、寝癖で見事に芸術を造りあげています。スーパーサイヤ人かお前は。

姉は俺のイタイ視線をもともせず、奇妙なテンションでへらへらと笑います。

「ほおら言ってみな。僕の姉は自宅警備員ー。あひゃひゃ」

「天国の父さん……母さん……。僕の姉は自宅警備員ー。あひゃひゃ」

「うん、仏壇に線香を供えながらはナシにしようか。流石の姉ちゃんも心が痛い」

こんな奴の弟である俺のほうが心が痛いものである。

「郵便もともに受け取れない引きこもりを、どう自宅警備員と呼べようか。なあ我が家の不良責権君

」

「人を無意味良品みたいに言っな」

「姉は無意味良品とは似て非なる物だな。正しく言つと無意味悪品だ」

「ええいうるさい！ 郵便くらいなら私もちゃんと受け取るぞ！アマゾンのだけなら」

「あれ、それお前の私物じゃね？」

弟はアマゾンなんて利用しません。欲しいものがあれば自分の足で買いに行く。

そして買いに行く中で、本来目的にはなかったお宝を店内で発見していくんだ。

これがショッピングの楽しみなのだ。

「さあ、受け取るのは私の私物のみじゃね？」

「結局意味なくね？ 働けてなくね？」

「ただの人見知りなんだからしょうがないんじゃない？」

「結局引きこもりじゃね？ ニートじゃね？」

「つーかなにそれ……流行ると思ってんの？ うわ、引くわ」

てめー少しノッてたじゃねーかよ。

「死んでくれ」

「弟のバカ！！」

”死んでくれ”発言の次の瞬間、姉の拳が俺の顔面に炸裂していました。

「なっ、何をする！」

「間違つても姉弟に向かつて『死んでくれ』なんて口にするんじゃないの！ この絞りカス！」

姉が何度もパンチを繰り出します。全て顔面を狙つて。まてまて。果たしてこの拳に姉弟愛はあるのか？なぜ薄ら笑いを浮かべながらちよつと嬉しそうなんだ？

「いや悪い。正直すまんかった。だからもう殴るのをやめてくれ！」  
姉の拳がようやく止まります。

「そうか。分かったならもういい。では早速本題に入るが」

「crazy。今までのやりとりが余興だったと言つのか」

「新しいパソコンが欲しい」

「……………」

…………どの口がそんなこと言つんだ。

「うちにそんな金が無いことは分かっている。という事でお前に生命保険を加入させておいた。ほら、ちよつと死んでくれ」

「お前訴えてえ」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7422d/>

---

ヒッキー姉

2010年12月30日23時37分発行